学校運営協議会（定時制部会）議事録

校　　名	大阪府立西野田工科高等学校
准校長名	高橋　道生

開催日時	令和８年 10 月 19 日(月) 18:30～20:00
開催場所	大阪府立西野田工科高等学校　小会議室
出席者（委員） ※敬称略	丹羽　登（関西学院大学教授）、杉本　三六（後援会会長）、小山　謙一（神戸大学 CC)、本田　恵美（地域婦人会)、平井　佳子（本校前 SSW)、戸田恵美子（保護者）
出席者（学校）	高橋　道生（准校長)、島内　健（教頭)、二子石　知恵（主査)、 中路　裕介（首席・生徒支援部長)、川上　裕也（教務部長)、 廣　祐一（進路指導主事）
傍聴者	０名
協議資料	・令和９年度　教科書選定・令和８年度　第１回授業アンケートの結果 ・令和８年度　学校の動き

議題等（次第順）
１　会長　あいさつ ２　准校長あいさつ ３　生徒の学校生活の様子 ４　授業見学（体育） ５　議題 ・令和９年度　使用教科書選定について ・第１回　授業アンケートの結果・分析について ６　各部より報告 ７　まとめ
協議内容・承認事項等（意見の概要）
◇生徒の学校生活の様子 【准 校 長】10 月に行われた大阪府立高校定時制通信制生徒秋季発表大会に生徒が参加。生活体験発表の部で教育研究会賞、作品発表の部（書道）で奨励賞、同じく（美術・工芸）で校長協会賞を受賞した。 ◇協議 ＜議題＞ ■令和９年度　使用教科書選定について 【会　　長】令和９年度使用教科書選定案について、原案通り全会一致で承認。 ■第１回　授業アンケートの結果・分析について 【教　　頭】本アンケートは 4.0 点満点であり、全体平均値は 3.62 であった。前回アンケート（令和７年 12 月：3.71）と比較して、数値上は微減となっているが、大阪府

全体の基準から見てもこの数値は極めて高水準である。さらに分析を進めると、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計を合わせた肯定率は、前回の96.1%から98.6%へと上昇しており、授業に対して高い満足度が示されていると考えている。

【会　　長】授業アンケート結果に関して、数値は微減となっているが、それは誤差範囲である。授業に対する肯定率は98.6%に達しており、生徒が本校の授業に満足していることが確認できた。引き続き授業力向上に向けて進めてほしい。

＜各部より報告＞

■教務部より報告

【教務部長】次年度の今宮工科高校校地への移転に向け、成績評価や年間行事表、時間割等の移行について、今宮工科側との調整を行っている（次年度は４学年のみが設置される）。

【小山委員】例えば令和８年度に原級留置となった生徒がいた場合、どのような対応となるか

【教務部長】４年生で単位不足が生じた場合は原級留置。３年生で発生した場合は本校に３学年が存在しなくなるため、他校への特別転学の対応をとる（現時点では全対象生徒の出席・成績とも良好で留置の心配はない見込み）

【丹羽会長】校務支援システムに伴う諸課題対応とあるが、どのようなものか。

【教務部長】校務支援システム（賢者）に移行はしたものの、運用にあたっては大阪府全体のシステム不具合・エラー等が続いている状態である。

■進路部より報告

【進路部長】今年度の卒業予定者は10人。そのうち就職内定者は４人、進学決定者は３人である。残りの生徒についても引き続き、進路実現に向けサポートしていく。

【小山委員】今年度の求人状況はどうか

【進路部長】指定校求人数が31件、一般公開求人数が1,736件で、合計すると1,767件であった。昨年度より、求人情報のデジタル配信用システム「Handy進路指導部」を活用し、生徒が校内外で求人票が見られるようにしている。またハローワークのWebサイトからも求人票が検索できるように環境を整え、多くの求人票が閲覧できるようにしている。

■生徒支援部より

【生徒部長】現在進路部と協力しながら、手帳所持生徒に対しては積極的に外部機関を活用し、また外国籍生徒へは「特定活動」ビザへの変更を見据えながら、現在就職支援を行っている。

【丹羽会長】手厚い就労支援体制である。生徒が進路実現するまでサポートをお願いする。

次回会議日程

日　時	令和９年１月25日（月）18:30～
場　所	大阪府立西野田工科高等学校　小会議室